

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書の訂正報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第4項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成26年3月14日

**【四半期会計期間】** 第72期第2四半期  
(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

**【会社名】** 株式会社アイレックス

**【英訳名】** AIREX INC .

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 畑 徹

**【本店の所在の場所】** 東京都中央区日本橋本町四丁目8番14号

**【電話番号】** (03) 3245-2011

**【事務連絡者氏名】** 常務取締役管理本部長 兼 西日本事業部長 榎 恒 久

**【最寄りの連絡場所】** 東京都中央区日本橋本町四丁目8番14号

**【電話番号】** (03) 3245-2011

**【事務連絡者氏名】** 常務取締役管理本部長 兼 西日本事業部長 榎 恒 久

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

当社は、平成25年4月1日に適正な会計処理が行われていなかった可能性があることを受け、第三者委員会を設置し、調査を行い、同年6月10日の第三者委員会からの調査報告書を踏まえて、同日付で有価証券報告書及び四半期報告書の訂正報告書を関東財務局に提出しました。

今回、前述の過年度の当該訂正報告書等について、平成25年10月から、証券取引等監視委員会による検査を受けていた中で、過年度の仕掛品勘定、ソフトウェア仮勘定の資産性等について疑義を呈され、平成25年11月15日の社内確認により、過年度の仕掛品の一部に資産性のないものが計上されていたことが発覚したことから、過年度の不適切な会計処理を徹底調査するため、第三者委員会を改めて設置し、平成21年1月から平成25年9月までの期間を対象期間とし、子会社3社も含めた全取引について調査を実施いたしました。

今回、平成26年3月7日に受領した第三者委員会の調査報告書により、締め後売上、工事進行基準売上、ソフトウェア仮勘定及び仕掛品の会計処理について不適切な会計処理があったことが判明いたしました。

平成25年4月から6月に実施した、前回の調査は、不適切な会計処理を行った担当者へのヒアリングを行い、当該不適切な会計処理の調査対象期間の特定を行いました。今回、過年度に前述の不適切な会計処理があったことが判明しており、調査対象期間と調査対象範囲が十分でなかったことが明らかとなりました。当時の調査が不十分で誠に申し訳ございません。

これらの訂正の結果、当社が平成25年11月14日に提出いたしました第72期第2四半期（自平成25年7月1日至平成25年9月30日）に係る四半期報告書の一部を訂正する必要が生じたので、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、四半期連結財務諸表の記載内容にかかる訂正箇所につき、XBRLデータの訂正をおこないませんので、併せて訂正後のXBRL形式のデータ一式（表示情報ファイルを含む）を関連書類として提出いたします。

訂正後の四半期連結財務諸表について、聖橋監査法人により、四半期レビューを受けており、その四半期レビュー報告書を添付しております。

## 2 【訂正事項】

### 第一部 企業情報

#### 第1 企業の概況

##### 1 主要な経営指標等の推移

#### 第2 事業の状況

##### 3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

#### 第4 経理の状況

##### 1 四半期連結財務諸表

##### (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

##### (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

##### 注記事項

##### (1 株当たり情報)

### 3 【訂正箇所】

訂正箇所は\_\_\_\_を付して表示しております。

なお、訂正箇所が多数に及ぶことから上記の訂正事項については、訂正後のみを記載しております。

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

連結経営指標等

(訂正後)

回次	第71期 第2四半期 連結累計期間	第72期 第2四半期 連結累計期間	第71期
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高 (千円)	1,577,939	1,852,727	3,495,610
経常利益又は経常損失( ) (千円)	23,662	32,496	80,892
四半期純利益又は四半期(当期)純損失( ) (千円)	78,406	7,740	29,485
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	84,168	19,500	4,846
純資産額 (千円)	535,593	501,161	481,660
総資産額 (千円)	1,289,865	1,442,963	1,483,748
1株当たり四半期純利益金額又は四半期(当期)純損失金額( ) (円)	2.67	0.26	1.00
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	—	0.15	
自己資本比率 (%)	30.82	34.73	32.46
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	131,650	20,165	92,294
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	6,736	6,294	144,907
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	50,798		98,051
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	327,062	324,846	298,386

回次	第71期 第2四半期 連結会計期間	第72期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	2.16	0.82

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第71期及び第71期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期(当期)純損失であるため、記載しておりません。

## 第2 【事業の状況】

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

(訂正後)

～ 前略 ～

##### 売上高及び営業利益

当第2四半期連結累計期間における当社グループは、グループ全体での連携を強化し、得意分野である通信関連、業務アプリ関連等のソフト開発案件及びシステム構築・評価案件の受注活動に注力した結果、売上高は前年同四半期と比べ274,787千円(17.4%)増加し1,852,727千円となりましたが、一部の不採算案件の発生、期初の稼働率低下等により原価率が悪化したことにより、営業利益は29,045千円(前年同四半期は営業損失27,551千円)となりました。

##### 経常利益

営業外損益では、受取配当金、受取賃貸料等の営業外収益が5,246千円ありましたが、営業外費用で支払利息等が1,795千円あり、その結果、当第2四半期連結累計期間の経常利益は32,496千円(前年同四半期は経常損失23,662千円)となりました。

##### 四半期純利益

特別損益では、役員退職慰労引当金戻入額等の特別利益が12,539千円ありましたが、特別損失で過年度決算訂正関連費用等が22,995千円あり、また、法人税等を14,300千円計上したことにより、当第2四半期連結累計期間の四半期純利益は、7,740千円(前年同四半期は四半期純損失78,406千円)となりました。

なお、当社グループの事業は、システム開発並びにこれらの付随業務を事業内容とする単一セグメントであるため、セグメント別の状況は記載しておりません。

#### (3) キャッシュ・フローの状況

(訂正後)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ26,460千円増加し、324,846千円となりました。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、たな卸資産の増加56,400千円、仕入債務の減少61,972千円等により資金が減少しましたが、売上債権の減少144,421千円等により、20,165千円の収入(前年同期は131,650千円の収入)となりました。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の取得による支出5,487千円により資金が減少しましたが、投資有価証券の売却による収入9,309千円等により、6,294千円の収入(前年同期は6,736千円の支出)となりました。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、ありませんでした(前年同期は50,798千円の支出)。

## 第4 【経理の状況】

- 1 【四半期連結財務諸表】  
 (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
 【四半期連結損益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】  
 (訂正後)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	1,577,939	1,852,727
売上原価	1,401,946	1,602,817
売上総利益	175,993	249,909
販売費及び一般管理費		
販売費	3,851	1,860
一般管理費	199,693	219,002
販売費及び一般管理費合計	203,544	220,863
営業利益又は営業損失( )	27,551	29,045
営業外収益		
受取利息	35	38
受取配当金	1,949	2,667
受取賃貸料	2,514	2,535
その他	22	5
営業外収益合計	4,521	5,246
営業外費用		
支払利息	633	1,713
その他	-	82
営業外費用合計	633	1,795
経常利益又は経常損失( )	23,662	32,496
特別利益		
投資有価証券売却益	-	4,568
役員退職慰労引当金戻入額	-	7,970
特別利益合計	-	12,539
特別損失		
投資有価証券評価損	9,370	-
投資有価証券売却損	-	15
過年度決算訂正関連費用	-	22,980
特別損失合計	9,370	22,995
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	33,033	22,040
法人税等	37,983	14,300
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失( )	71,017	7,740
少数株主利益	7,389	-
四半期純利益又は四半期純損失( )	78,406	7,740

【注記事項】

(1株当たり情報)

(訂正後)

1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額 ( )	2円67銭	0円26銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額( ) (千円)	78,406	7,740
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失 金額( )(千円)	78,406	7,740
普通株式の期中平均株式数(株)	29,411,026	29,409,535
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	—	0円15銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)		
普通株式増加数(株)	—	21,333,333
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前 連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(注) 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。